

令和7年度
経営発達支援計画 事業評価報告書

岩瀬管内商工会広域連携協議会

須賀川市 鏡石町 天栄村

■外部評価の目的

岩瀬管内商工会広域連携協議会(岩瀬商工会、長沼商工会、大東商工会、鏡石町商工会、天栄村商工会)と須賀川市、鏡石町、天栄村は、令和3年3月に経済産業省より「経営発達支援計画」の認定を受けて小規模事業者の持続的発展を支援するための各種事業に取り組んでいる。

本評価は、経営発達支援計画に基づいて実施した事業について、PDCAサイクルによる評価、検証、見直しを行い、次年度以降の各事業に反映させることを目的に行うものである。

■事業の実施期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日の5年間

■経営発達支援事業の目標

- (1)事業計画策定支援による地域内商工業者の経営力強化
- (2)新規創業者を発掘・育成及び事業承継支援によって小規模事業者の減少を抑制
- (3)IT活用支援によるブランド形成・マーケティングの強化

■評価基準

- A:実施され効果が見られたもの
- B:実施され効果が期待できるもの
- C:実施されたが効果が見られないもの
- D:実施されなかった、実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

■評価検討委員

○委員長

鈴木 龍京(税理士・中小企業診断士)

○委員

佐藤 茂吉(岩瀬商工会 副会長)

浅川由紀夫(長沼商工会 理事)

佐藤 成行(大東商工会 顧問)

根本竜太郎(鏡石町商工会 副会長)

田代 嘉宏(天栄村商工会 副会長)

七海 克彰(須賀川市経済環境部商工課長)

大木 寿実(鏡石町産業課長)

大木 伸一(天栄村産業課長)

目黒 孝幸(福島県商工会連合会 中通り広域指導センター 主任主査)

1. 地域の経済動向調査に関すること

●計画概要

国が提供するビッグデータを活用し、地域の経済動向に関する情報の収集を行い分析する。又、管内小規模事業者の景気動向等について詳細な調査・分析を定期的に行う。調査分析結果は、管内小規模事業者に対して広く公表する。

●実施内容

・地域経済動向調査事業

① 中小企業景況動向調査の充実

管内の景気動向等について、より詳細な実態を把握するため、現在行っている全国商工会連合会の「中小企業景況動向調査」により、管内小規模事業者の景気動向等について詳細な調査・分析を定期的(四半期ごと)に行った。

【調査対象】管内小規模事業者 15 社

(製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業から均等に選定)

【調査項目】売上額、業況、採算、資金繰り、雇用、設備投資、経営上の問題等

【調査手法】経営指導員等による聴き取り調査

【調査回数】6 月、9 月、11 月、3 月の年 4 回

② 景況及び支援要望調査

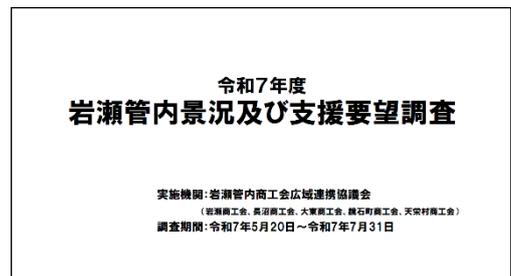
管内の景況及び支援ニーズを把握するため管内商工会員を対象に調査・分析を行う。特に事業承継に関する調査を重点的に行う。

【調査対象】管内商工会員(回収 198 社)

【調査項目】売上額、所得(経常利益)、支援要望、事業承継に関する方向性、承継時期、賃上げの状況について等

【調査手法】WEB 回答フォーム、経営指導員等による聴き取り、FAX または持参による回収

【調査時期】5 月 20 日～7 月 31 日



●目標及び実績

内容	目標	実績	昨年度
①ビッグデータ活用による地域の経済動向分析の公表回数(回)	1	0	(0)
②中小企業景況動向調査公表回数(回)	4	5	(5)

●自己評価

▼ビッグデータの活用については、RESAS のデータ更新頻度が低いことから分析を見送っているが、分析の頻度を高める方法について引き続き検討していきたい。

- ▼当管内独自調査である景況および支援要望調査は、継続して実施することで貴重なデータとなっている。
- ▼今回からWEB 回答フォームを追加したところ、予想以上に多くの方に利用していただき、調査票の回収件数を昨年度より増加させることができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	1	8	1	0

●評価委員によるコメント

- ・WEB 回答による回収率向上を継続し、地域実態に即した独自調査を強化してください。ビッグデータ活用は、更新頻度や体制面の課題を踏まえ慎重に検討し、代替案を模索すべきです。調査結果は小規模事業者へ広く公表し、還元してください。
- ・中小企業景況動向調査は目標 4 回に対し実績 5 回と継続的に実施され、回収 198 社の独自調査も実施されるなど、データ蓄積という点では評価できます。一方、ビッグデータ活用は目標 1 回に対し実績 0 回であり未達でした。

評価できる点は、WEB 回答導入により回収件数が増加し、調査基盤の強化が図られたことです。課題は、収集データの高度分析と事業計画支援への明確な接続です。

次年度は、景況調査結果を業種別レポート化し、個社支援に反映させる仕組みづくりが求められます。

2. 需要動向調査に関すること

●計画概要

より効果的な事業計画策定を行うための基礎データとして活かすため、来店客に対する調査用紙を設置したアンケート調査、又はホームページやSNSを活用したWEB調査を実施する。調査結果は分析した上で支援先にフィードバックすることで、需要を見据えた新商品開発や事業計画策定ができるよう支援する。

●実施内容

・事業計画策定支援を通じた需要動向分析

事業計画策定支援の際に、市場、商圈、消費者ニーズ等の分析を行い計画策定に活用する。

●目標及び実績

内容		目標	実績	昨年度
需要動向調査事業者数		50	54	(36)
内訳	岩瀬商工会	10	18	(16)
	長沼商工会	10	11	(7)
	大東商工会	8	2	(1)
	鏡石町商工会	14	19	(7)
	天栄村商工会	8	4	(5)

●自己評価

- ▼経営革新計画策定支援や補助金申請支援等を通じて需要動向分析を行い、市場環境や顧客ニーズを把握・整理することで、実現性や効果を意識した計画策定につなげることができた。
- ▼来店客に対するアンケート調査については、現時点で具体的な支援要望がなかったことから実施を見送った。今後は、新商品開発や販売促進等に関する支援ニーズの把握に努め、機会を捉えて積極的に提案・実施していく。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	4	6	0	0

●評価委員によるコメント

- ・補助金申請等を契機とした調査分析は、現状把握において非常に有効です。今後もニーズ調査のさらなる深化を図ってください。また、その分析結果を実効性のある計画策定へと繋がることを期待します。
- ・需要動向調査事業者数は目標 50 に対し 54 と達成し、昨年度 36 から大幅に増加しました。事業計画策定支援と連動して実施された点は評価できます。
評価できる点は、補助金・経営革新支援と需要分析を一体化させた点です。
課題は、来店客アンケート等の直接的市場調査が未実施であったことです。
次年度は、BtoC 型事業者向けの簡易顧客調査モデルを標準化し、実行支援まで踏み込むことが重要です。

3. 経営状況の分析に関すること

●計画概要

事業計画策定セミナー等の機会を通じて、予め経営分析が必要な事業者の掘り起こしを行い、経営分析を実施する。分析では、財務内容だけでなく、保有する技術やノウハウ、経営資源等の経営実態を把握する。

●実施内容

・経営分析支援事業

・儲かる経営戦略セミナー(経営革新計画策定セミナー)

開催日 令和7年7月9日(水)

場 所 長沼商工会館

受講者 16事業所(岩瀬2、長沼5、大東4、鏡石町2、天栄村3)

講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

内 容 経営戦略を検討するうえで必要となる経営分析手法について学ぶとともに、自社の現状や課題を整理し、今後の方向性を検討するための考え方について理解を深めた。



・創業セミナー

開催日 令和7年10月8日(水)、9日(木)、15日(火)、16日(木)、

22日(火)、23日(木) 全6回

場 所 鏡石町コミュニティーセンター

受講者 14名(岩瀬1、長沼0、大東1、鏡石町7、天栄村1、地区外4)

講 師 中小企業診断士・税理士 鈴木龍京 氏

(株)日本政策金融公庫郡山支店 融資第二課長 三浦博之 氏

内 容 創業するにあたり必要となる経営分析手法等について学んだ。



●目標及び実績

内容	目標	実績	昨年度
セミナー開催回数	1	2	(2)

内容		目標	実績	昨年度
経営分析件数		100	125	(149)
内訳	岩瀬商工会	20	43	(44)
	長沼商工会	20	25	(21)
	大東商工会	15	15	(15)
	鏡石町商工会	30	31	(42)
	天栄村商工会	15	11	(27)

●自己評価

- ▼事業計画策定支援において、自社の現状や強み・弱みを正確に把握するために、経営分析を行うことができた。
- ▼2回のセミナーにおいて自社の現状を正確に把握するための経営分析の手法を習得してもらうことができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	8	2	0	0

●評価委員によるコメント

- ・経営分析の重要性を理解させる入口としてセミナーは有効ですが、今後は受講者の経営指標改善などの実効性を注視し、事業者自身が段階的に自走できる支援体制を期待します。
- ・経営分析件数は目標 100 に対し 125 と達成しました。セミナーも 2 回実施し、分析スキルの底上

げが図られました。

評価できる点は、分析を事業計画策定支援へ連動させている点です。

課題は、件数は前年度 149 件から減少している点と、分析後の成果追跡の仕組み強化です。

次年度は、分析結果を経営指標改善に結びつける KPI 管理を導入すると効果的と考えます。

4. 事業計画策定支援に関すること

● 計画概要

専門家と連携し、事業計画策定セミナー、個別相談会を実施し「新たな取り組み(経営革新)」に意欲を持つ事業所を発掘し、環境の変化に対応した事業計画の策定を支援する。又、事業承継・創業支援を専門家と連携しながら実施する。

● 実施内容

① 経営革新計画策定セミナー「儲かる経営戦略セミナー」

開催日 令和7年7月9日(水)

場 所 長沼商工会館

受講者 16 事業所(岩瀬 2、長沼 5、大東 4、鏡石町 2、天栄村 3)

講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

② 経営革新計画策定個別相談会

開催日 令和7年7月15日(火)～10月20日(月)

場 所 各商工会館

相談者 12事業所 ※実施回数44回

(岩瀬 4、長沼 5、大東 1、鏡石町 0、天栄村 2)

内 容 経営革新申請における事業計画作成支援

【10社承認】

(岩瀬 4、長沼 4、大東 1、鏡石町 0、天栄村 1)

専門家 中小企業診断士 綿貫有二 氏



③ 創業セミナー

開催日 令和7年10月8日(水)、9日(木)、15日(火)、16日(木)、

22日(火)、23日(木) 全6回

場 所 鏡石町コミュニティーセンター

受講者 14名(岩瀬 1、長沼 0、大東 1、鏡石町 7、天栄村 1、地区外 4)

内 容 創業間もないスタートアップ企業や地域内の創業希望者を対象に、マーケティングや売上計画等に関する経営知識の向上を図り、創業後の安定的な事業継続につながる支援を行った。

講 師 中小企業診断士・税理士 鈴木龍京 氏

(株)日本政策金融公庫郡山支店 融資第二課長 三浦博之 氏

④事業承継セミナー「事業承継と財務諸表のキホン講座」

開催日 令和7年9月3日(水)

場 所 鏡石町コミュニティーセンター

受講者 16名(岩瀬4、長沼4、大東1、鏡石町6、天栄村1)

内 容 事業後継者および事業承継をしたばかりの若手経営者を対象とし、管内青年部連絡協議会との共催により開催した。本セミナーでは、決算書の読み方を中心に経営に不可欠な財務諸表の基礎知識について学ぶ機会を提供した。

講 師 中小企業基盤整備機構アドバイザー 相馬由寛・乾比呂人 氏



⑤事業承継個別相談会

開催日 令和7年7月23日(水)～1月27日(火) 実施回数5回

場 所 各商工会館

相談者 3事業所(岩瀬1、長沼0、大東0、鏡石町0、天栄村2)

内 容 事業承継に向けた課題整理を目的とし、専門家を交えた個別相談を実施し、必要に応じて事業承継計画の策定支援を行った。また、本相談会は、経営指導員が実践を通じて学ぶOJTの機会として、支援スキルの向上を図る実践型の講習として実施した。

専門家 中小企業基盤整備機構アドバイザー 相馬由寛・阿部憲夫・乾比呂人 氏

●目標及び実績

内容		目標	実績	昨年度
事業計画策定件数		55	55	(33)
内訳	岩瀬商工会	11	18	(5)
	長沼商工会	11	11	(5)
	大東商工会	9	2	(1)
	鏡石町商工会	15	18	(20)
	天栄村商工会	9	6	(2)

内容		目標	実績	昨年度
創業支援及び創業計画策定件数		10	12	(12)
内訳	岩瀬商工会	2	2	(2)
	長沼商工会	2	0	(2)
	大東商工会	1	1	(1)
	鏡石町商工会	3	7	(5)
	天栄村商工会	2	2	(2)

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	6	4	0	0

●自己評価

- ▼今年度の創業セミナーは参加者も多く、全体として非常に良い雰囲気の中で実施することができた。一方で、申込のみで初日から参加されない方が複数見受けられた。
- ▼補助金申請を契機に事業計画策定への取組が広がり、策定件数を増加させることができた。
- ▼事業承継支援については、同様の方法で3年目となるが、支援先の発掘が課題となり、今年度は事業を途中で断念した。今後は、より効果的な事業承継支援の実施方法について検討していきたい。
- ▼経営革新計画策定支援については、例年、案件発掘に苦労しているものの、今年度も10件の申請を行うことができた。

●評価委員によるコメント

- ・昨年度より策定件数が伸びており、職員の意欲的な取り組みを高く評価します。今後も自治体とも連携しつつ、事業承継等の課題を持つ潜在的な事業者を掘り起こし、寄り添った支援の継続を期待します。
 - ・事業計画策定件数は目標55件を達成、創業計画も12件と目標10件を上回りました。経営革新承認10件は成果といえます。
- 評価できる点は、セミナー→個別相談→承認取得までの支援導線が機能している点です。
- 課題は、事業承継支援が発掘不足により停滞した点です。
- 次年度は、承継予備軍の早期リスト化と金融機関等との連携強化が必要です。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

●計画概要

事業計画策定後に、定期的にフォローアップを行い計画の進捗状況の確認を行う。その際に計画実行のための課題を抽出し支援策を検討する。支援にあたっては、専門家も活用しながら計画を次の段階へ進められるよう支援を行う。

●実施内容

①経営革新計画策定支援フォローアップセミナー「新事業発表会」

開催日 令和7年12月4日(木)

場 所 岩瀬商工会館

参加者 8名(岩瀬3、長沼4、大東0、鏡石町0、天栄村1)

内 容 各事業者が策定した経営革新計画を発表し、専門家から計画実行に向けた具体的な助言を受けた。

専門家 中小企業診断士 綿貫有二 氏



●目標及び実績

内容		目標	実績	昨年度
事業計画策定後のフォローアップ事業者数(社)		65	55	(69)
内訳	岩瀬商工会	13	10	(20)
	長沼商工会	13	7	(11)
	大東商工会	10	4	(3)
	鏡石町商工会	18	24	(25)
	天栄村商工会	11	10	(10)

内容		目標	実績	昨年度
事業計画策定後のフォローアップ延件数		325	289	(296)
内訳	岩瀬商工会	65	57	(27)
	長沼商工会	65	44	(43)
	大東商工会	50	22	(29)
	鏡石町商工会	90	120	(145)
	天栄村商工会	55	46	(52)

内容		目標	実績	昨年度
事業計画策定後の売上増加企業数		20	32	(42)
内訳	岩瀬商工会	4	10	(20)
	長沼商工会	4	7	(7)
	大東商工会	3	2	(2)
	鏡石町商工会	6	6	(6)
	天栄村商工会	3	7	(7)

●自己評価

- ▼新事業発表会では、自らの言葉で計画内容や事業にかける思いを説明する機会を設けたことで、計画の方向性や課題を改めて整理することができ、今後の計画実行に向けたモチベーションの向上につなげることができた。
- ▼フォローアップ事業者数は昨年より減少したものの、1社あたりの支援件数は増加しており、事業計画策定に係る実施支援をより丁寧に行うことができた。その結果、売上増加企業数については目標を達成することができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	6	4	0	0

●評価委員によるコメント

- ・売上増加企業数が目標を達成しており、丁寧な計画策定支援の成果を高く評価します。一方でフォローアップ件数の未達が課題です。計画後の伴走支援こそが真の利益貢献に繋がるため、次期は目標達成に向けたさらなるフォロー体制の強化を期待します。
- ・フォローアップ事業者数は目標 65 に対し 55 と未達でしたが、売上増加企業数は目標 20 に対し 32 と達成しました。評価できる点は、支援密度を高めた結果、成果企業が増加した点です。課題は、フォロー対象母数の安定確保です。次年度は、重点支援先を明確化し、売上・利益改善指標を設定する仕組み化が望まれます。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

●計画概要

ITを活用した販路開拓を支援し、ブランド形成・マーケティングの強化を図る。また、ECサイトへの出品や商談会への出展についても支援し、新規取引先開拓を図る。

●実施内容

①ITを活用した販路開拓(BtoC)

無料ホームページ作成ツール「ゲーペ」活用し、事業所のホームページの作成を支援した。

※経営支援員が1社ずつ選定しホームページの作成を支援。

作成件数:8社(岩瀬2、長沼1、大東、1、鏡石町3、天栄1)

②商談会等を活用した販路開拓(BtoB)

ECサイトへの出品や商談会への出展について情報提供を行った。

③生成AIセミナー「生成AIのつかいどころ」

開催日 令和7年11月18日(火)

場 所 長沼商工会館

参加者 19名(岩瀬5、長沼8、大東0、鏡石町3、天栄村3)

内 容 急速に進化する ChatGPT などの生成 AI を、実際の業務でどのように活用できるかを学ぶ機会を提供した。参加者は実例や操作方法を通じて、業務効率化や新たな事業アイデアの創出への応用方法について理解を深めた。

講 師 中小企業診断士 村上知也 氏



④IT個別相談会

開催日 令和7年12月10日(水)

場 所 長沼商工会館

参加者 2名(長沼1、天栄1)

内 容 ITやSNS等の活用についてそれぞれ事業所が抱える課題の解決を支援した。

専門家 中小企業診断士 村上知也氏

●目標及び実績

内容		目標	実績	昨年度
ECサイト出品企業数		7	4	(17)
内訳	岩瀬商工会	1	0	(1)
	長沼商工会	1	0	(1)
	大東商工会	1	0	(0)
	鏡石町商工会	3	0	(13)
	天栄村商工会	1	4	(2)
売上額／社		10万円	0	(5)

内容		目標	実績	昨年度
商談会参加企業数		7	1	(1)
内訳	岩瀬商工会	1	0	(0)
	長沼商工会	1	0	(0)
	大東商工会	1	0	(0)
	鏡石町商工会	3	1	(1)
	天栄村商工会	1	0	(0)
新規取引先開拓件数／社		1	2	(0)

●自己評価

- ▼ITを活用した販路開拓支援の一環として、新たに生成 AI に関するセミナーを実施したところ多くの事業所に参加いただくことができた。来年度以降も引き続き実施を検討したい。
- ▼経営支援員による業務管理会議において、商工会員向け無料ホームページ「ゲーペ」の活用方法を習得した上で、事業者に対するホームページ作成支援を行い、情報発信力の向上を図ることができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	0	8	2	0

●評価委員によるコメント

- ・無料 HP 作成や生成 AI 等の活用支援は、事業者の IT 導入や情報発信力の向上に寄与しており高く評価します。目標未達の項目はありますが、今後は SNS 連携等の相乗効果も狙いつつ、事業者のデジタルスキル向上と EC 活用による販路開拓の更なる進展を期待します。
- ・EC 出品企業数は目標 7 に対し 4、売上目標 10 万円に対し実績 0 と未達でした。商談会参加も目標 7 に対し 1 社です。評価できる点は、生成 AI セミナー開催など DX 意識醸成を行ったことで

す。課題は、販路開拓支援が成果指標と結びついていない点です。次年度は、EC 出品後の販売伴走支援と数値管理の徹底が必要です。

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

●計画概要

外部有識者(中小企業診断士等)、市町村担当者、岩瀬管内5商工会から選出された事業者代表、福島県商工会連合会、法定経営指導員で構成する「評価検討委員会」を毎年度1回以上開催する。委員会では、経営発達支援事業の実施状況、成果について評価・検証を行う。評価・検証の結果は、各商工会の理事会等で報告する他、岩瀬商工会のホームページで公開する。

●実施内容

①評価検討委員会の開催

(1)経営発達支援計画評価検討委員会

日 時 令和8年2月17日(火)

場 所 岩瀬商工会館

内 容 令和7年度 経営発達支援事業の実施報告について

令和8年度 経営発達支援計画に基づく事業(案)の骨子について

●自己評価

▼評価検討委員会での指摘事項等を次年度事業に反映させ、事業運営の改善を図っている。

今年度は、昨年度に指摘のあったデジタル活用支援強化への対応として、ホームページ作成支援に取り組んだ。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	5	4	1	0

●評価委員によるコメント

・PDCA サイクルが適切に運用されており、事業者支援の現状を共有できる貴重な機会として高く評価します。一方で、限られた時間での客観的な評価には限界もあるため、評価制度の精度向上を図りつつ、継続的な事業見直しと改善の仕組みを堅持してください。

・評価委員会を開催し、昨年度指摘事項を反映した点はPDCAが機能していると評価できます。課題は、改善結果の定量的検証です。

次年度は、改善事項の数値目標化が望まれます。

8. 経営指導員等の資質向上に関すること

●計画概要

小規模事業者の経営発達に資するために、経営指導員及び経営支援員の資質向上を図る必要がある。経営分析や事業計画作成、コミュニケーションスキルなど支援ノウハウを習得し、共有することで実効性のある経営支援に取り組める環境整備を行う。

●実施内容

①事業承継支援実践型講習会

(1)事業承継個別相談会

日 時 令和7年7月23日(水)～1月27日(火) 実施回数5回

場 所 各商工会館

内 容 専門家を交えて個別相談を実施することで経営指導員の支援スキル向上のための実践型講習を行った。

②経営支援員向け支援能力向上研修(業務管理会議)

(1)無料ホームページ作成ツール「ゲーペ」導入研修

日 時 令和7年9月9日(火)

場 所 岩瀬商工会館

参加者 管内経営支援員6名

講 師 福島県商工会連合会担当者

内 容 無料ホームページ作成ツール「ゲーペ」の導入及び活用方法について県連担当者を招いて講習を受け支援スキルの向上に繋げた。

(2)「ゲーペ」活用事例発表会(業務管理会議)

日 時 令和7年11月11日(火)

場 所 岩瀬商工会館

参加者 管内経営支援員7名

内 容 「ゲーペ」を活用した支援の成果をそれぞれ発表し支援方法等の共有を図った。

※経営支援員が1社ずつ選定しホームページの作成を支援。

作成件数:8社(岩瀬2、長沼1、大東、1、鏡石町3、天栄1)

③情報共有による資質向上

専門家による個別相談の際には、必ず経営指導員又は経営支援員が同席し支援することで、実務を通じて専門家の高度なノウハウやスキルを学ぶ機会とした。又、管内経営指導員による経営支援会議において経営支援に関する情報交換を行い、支援ノウハウの共有を図った。

・経営支援会議(経営指導員による会議) 全7回

・業務管理会議(経営支援員による会議) 全3回

●自己評価

- ▼今年度、7回実施した管内経営指導員による経営支援会議では、日ごろの経営支援事例について情報交換を行い支援能力向上に繋げることができた。
- ▼「ゲーベ」を活用したHP作成支援では、HPの掲載内容に関する詳細なヒアリングと提案を行う過程で、ヒアリング能力や提案力の向上に繋げることができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	5	5	0	0

●評価委員によるコメント

- ・ホームページ作成支援で築いた基盤を活かし、事業所間の照会やマッチング等の横展開を検討して欲しいです。また、経営分析など更に一步踏み込んだ高度な支援への精進を期待します。
- ・経営支援会議7回、業務管理会議3回実施し、OJTも実践されました。評価できる点は、支援を通じた能力向上という実践型育成です。次年度は、生成AI活用等の高度分野研修強化が期待されます。

9. 他の支援機関と連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

●計画概要

小規模事業者の支援を推進するため、他の支援機関との連携により、効果的な支援の実施及び支援ノウハウの共有を図る。

●実施内容

①小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会

【連携先:日本政策金融公庫郡山支店】

日時 令和7年6月18日(水)

場所 郡山ビューホテル

内容 日本政策金融公庫が主催。郡山支店管内の経済状況や金融動向、近隣各地区の景況等の情報交換を行うことで連携を密にし、経営分析スキルの向上と円滑な資金繰り、融資支援のノウハウ等の共有を図った。

②小企業者記帳指導協議会 【連携先:須賀川税務署、東北税理士会須賀川支部】

日時 令和8年1月20日(火)

場所 須賀川市民温泉2階会議室

内 容 須賀川税務署、東北税理士会須賀川支部との連携により、管内の景況等の情報交換を行う他、税務支援のノウハウの共有を図った。

③事業承継支援実践型講習会【連携先:中小企業基盤整備機構】

日 時 令和7年7月23日(水)～1月27日(火) 実施回数5回

場 所 各商工会館

内 容 中小企業基盤整備機構と連携し、管内事業者を対象とした事業承継支援を実施した。あわせて、各回を通じて得られた事例や対応方法について情報交換を行い、支援ノウハウの蓄積・共有を図った。

④日本政策金融公庫との情報交換会

【連携先:日本政策金融公庫郡山支店】

日 時 令和7年9月19日(金)

場 所 日本政策金融公庫郡山支店会議室

参加者 岩瀬管内経営指導員6名、公庫担当者2名

内 容 令和7年から導入された電子契約の手続方法や、マル経融資に関する最新情報について情報共有および意見交換を行った。



⑤中小企業支援機関ネットワーク会議【連携先:須賀川商工会議所、金融機関、支援機関等】

日 時 令和7年6月25日(水)

場 所 須賀川商工会議所

参加者 須賀川市内商工会、商工会議所経営指導員、市内金融機関、須賀川市役所、よろず支援拠点、産業雇用安定センター、中小企業活性化協議会、事業承継引継ぎ支援センター

内 容 須賀川商工会議所の主催。須賀川市内支援機関等が一堂に会し、事例等について情報共有を図った。

●自己評価

▼中小企業基盤整備機構等の支援機関と連携することで支援ノウハウの共有を図ることができた。

▼公庫との情報交換会は今年度新たに実施したが、少人数での開催としたことで、実務上の疑問点や具体的な課題についても踏み込んだやりとりができ、有意義な情報共有の場となった。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	8	2	0	0

●評価委員によるコメント

- ・関係支援機関との積極的な連携による組織力の向上と、ノウハウ共有の取り組みを高く評価します。今後もこの体制を維持・強化し、外部機関との情報交換を密にすることで、さらなる支援の質の向上を期待します。
- ・公庫、税務署、支援機関との連携が実施され、情報共有が深化しました。課題は、連携成果の可視化です。次年度は、共同支援事例の創出が望まれます。

10. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

●計画概要

須賀川市・天栄村・鏡石町各行政や地域経済関連団体等との懇談を通して、岩瀬地域の活性化に関する事業提案や方向性の検討を行う。

●実施内容

・岩瀬管内市町村長と商工会長等との懇談会

日時 令和7年12月1日(月)

場所 鏡石町健康福祉センター「ほがらかん」

参加者 市町村長、市町村担当者、商工会正副会長、事務局長、経営指導員

内容 管内市町村長を招き、経営発達支援計画に基づく各種事業の推進状況について説明を行うとともに、地域経済の現状や中小・小規模事業者を取り巻く課題を共有し、今後の事業展開や地域課題の解決に向けた連携の在り方について懇談を行った。



●自己評価

▼懇談会では、経営支援の実施状況を説明することで、商工会の取り組みについて理解を得ることができた。また各商工会において日頃から、地域経済の活性化のための事業に積極的に取り組んでいる。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	6	3	1	0

●評価委員によるコメント

- ・行政や経済団体との情報共有による地域課題の把握を高く評価します。今後は活性化に向けた具体的戦略をさらに明瞭化するとともに、懇談会等の交流機会を形骸化させず、実効性の高い連携の場として深化させることを期待します。
- ・懇談会は実施されましたが、具体的事業創出が今後の重要ポイントになります。課題は、協議から実行への移行です。次年度は、地域テーマ型プロジェクト創出が重要です。

●全体的な感想・意見

- ・目標も大切であるが内容をより深めることを期待しております。
- ・計画をおおむね達成できたのは良かったと思います。今後はフォローアップ、フィードバックに力を入れ効果的に事業を実施して欲しいです。
- ・本取組が地域経済の活性化に寄与されていくことを期待します。
- ・地域の事業者が一番身近な存在として、引き続き伴走型支援に取り組んでいることは、大変ありがたいと思っております。なお、事業承継など難しい問題なので、関係機関で連携しながら対応できればと思います。

●評価委員長総括

本年度の経営発達支援事業は、全体として概ね計画に沿って実施され、特に事業計画策定支援およびフォローアップ支援においては、売上増加企業数 32 社という成果が示す通り、一定の効果が現れているものと評価できます。単発支援に終わらず、セミナーから個別相談、計画策定、実行支援へとつながる支援導線が構築されている点は、大きな強みであると考えます。

一方で、需要開拓支援やEC活用支援については、実施はされているものの成果指標との連動が弱く、仕組みとしての成熟度には課題が残りました。また、事業承継支援は発掘段階で停滞しており、地域構造課題への対応として一層の工夫が必要です。

次年度の重点テーマとして、第一に「販路開拓支援の成果管理強化」、第二に「事業承継予備軍の体系的掘り起こし」、第三に「デジタル・生成 AI 活用を含む支援高度化」の三点を提案いたします。